

各位

会社名 株式会社TSIホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 下地 毅
 (東証プライム市場 コード番号 3608)
 問合せ先 広報・IR室長 山田 耕平
 TEL 03(5785)6400

**第2四半期(累計)の業績予想と実績との差異
 並びに通期連結業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ**

2022年4月13日に公表しました2023年2月期第2四半期(2022年3月1日～2022年8月31日)の業績予想と、本日公表の実績において差異が生じたこと等に伴い、2023年2月期通期(2022年3月1日～2023年2月28日)の業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2023年2月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異(2022年3月1日～2022年8月31日)

(1) 差異の内容

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	76,470	△985	△520	△240	△2.66円
実績値(B)	72,087	588	1,892	2,249	25.41円
増減額(B-A)	△4,382	1,573	2,412	2,489	
増減率(%)	△5.7%	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年2月期第2四半期)	64,751	1,134	2,002	1,890	20.94円

(2) 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績が大きく上振れました。その理由としては以下のとおりです。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症に鎮静化傾向が見られ、行動制限の緩和により徐々に外出需要が回復するとともに、個人消費が伸長しリアル店舗を中心に好調に推移しましたが、一部ブランドの不振により売上高の計画は下回りました。一方で利益面においては、懸念事項であった円安に対し一部ブランドで上期から値上げを実施したことに加え、適正量の製販体制構築に注力しました。その結果、値引きによる売上の割合を大幅に削減し、歩留まりが改善され売上総利益率が改善しました。これに加えて、販管費を抑制したことにより営業利益は予算を大幅に上回りました。

また、持分法投資損益や為替差益5億19百万円を計上したこと等により、経常利益も予想より良化しました。特別損益項目においては、投資有価証券売却益7億78百万円を計上したこと等により、8億73百万円の特別利益を計上したことや、1億34百万円の投資有価証券評価損や1億4百万円の減損損失を計上しました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億49百万円となりました。

2. 2023年2月期通期連結業績予想数値の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

（1）修正の内容

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	157,350	1,500	2,400	1,500	16.59 円
今回修正予想(B)	154,000	1,800	3,300	2,400	27.63 円
増減額(B-A)	△3,350	300	900	900	
増減率(%)	△2.1%	20.0%	37.5%	60.0%	
(ご参考)前期実績 (2022年2月期)	140,382	4,440	5,834	1,022	11.32 円

（2）修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績を受けて通期連結業績予想を上方修正しました。その理由は、以下のとおりです。

売上高については上期の実績に加え、下期の業績予想を見直しました。世界的なインフレや円安による影響等により第4四半期のセール販売影響等を厳しく評価した上で、営業利益は当初予想に比べて3億円の増加を見込んでおります。経常利益及び親会社株式に帰属する当期純利益については、上期実績並びに下期業績見込みを踏まえ、前回公表した通期の業績予想を上方修正しました。

以 上